

2. 地域別整備構想

(1) 川俣地域

①地域の概況

川俣地域は川俣町の中心であり、役場庁舎をはじめとした各種公共機関や中心商店街などの商業施設が集積している地域です。

②地域づくりの課題

○地域の中央を流れる広瀬川は、川俣町の基本的な景観を形成しています。広瀬川に沿って建ち並ぶ歴史ある蔵の景観と親水空間を保全・整備していくことが課題となっています。

○中心商店街は、駐車場や歩道整備が不足しており、買物客にとっての利便性が低くなっています。今後は、商業空間の賑わいを形成するために、これらの問題を解決していくことが求められています。

○道路については、安全な通学路を確保するための道路整備、街路灯、側溝整備などが課題です。

○住宅密集地域では、防災性向上に向けて細街路の拡幅や建物の不燃化等との再整備が必要です。

○市街地に隣接した小高い丘にある中央公園は、川俣町唯一の都市公園です。この中央公園を有効に活用するために、中央公園へのアクセスなど、使いやすさについての検討が必要です。

○河段城跡や春日神社、常泉寺は、川俣町の歴史を引き継いでいる貴重な文化資源です。周囲に広がる緑とともに歴史的景観を保全し、町民の憩いの場として整備していくことが必要です。

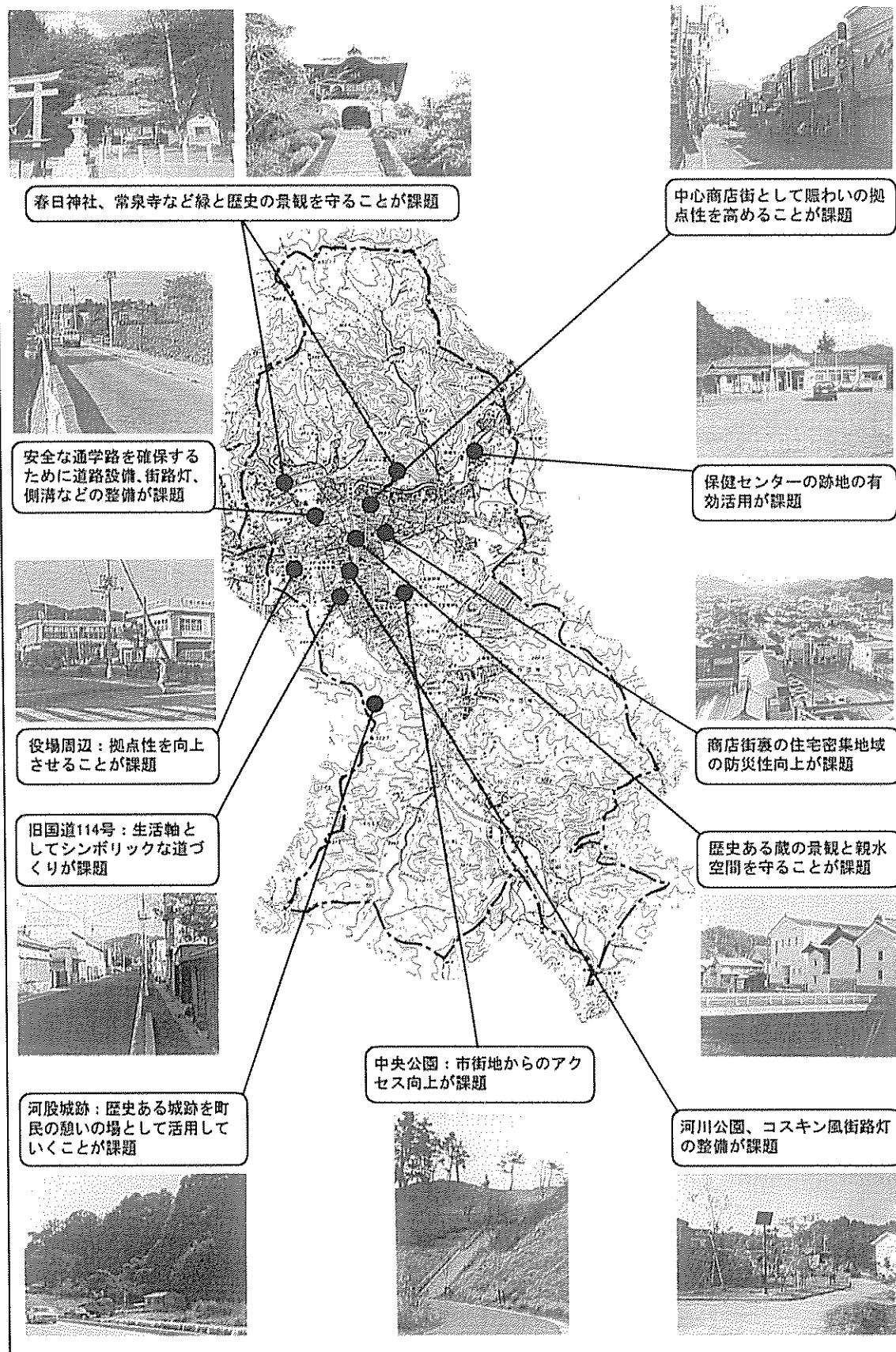
○役場庁舎とその周辺は、機能的にも都市環境の点からも、オープンスペースを整備するなど、川俣町の拠点に相応しい整備が必要です。

○公共施設跡地の有効活用についての検討が必要です。

○旧国道114号については、歩道の整備や街路樹・街路灯の統一など、生活軸として特徴ある道づくりが望まれています。

○広瀬川河畔の河川公園整備やコスキン風の街路灯の設置により、町に潤いを持たせる整備が求められています。

■川俣地域 地域づくりの課題



③地域づくりのテーマ

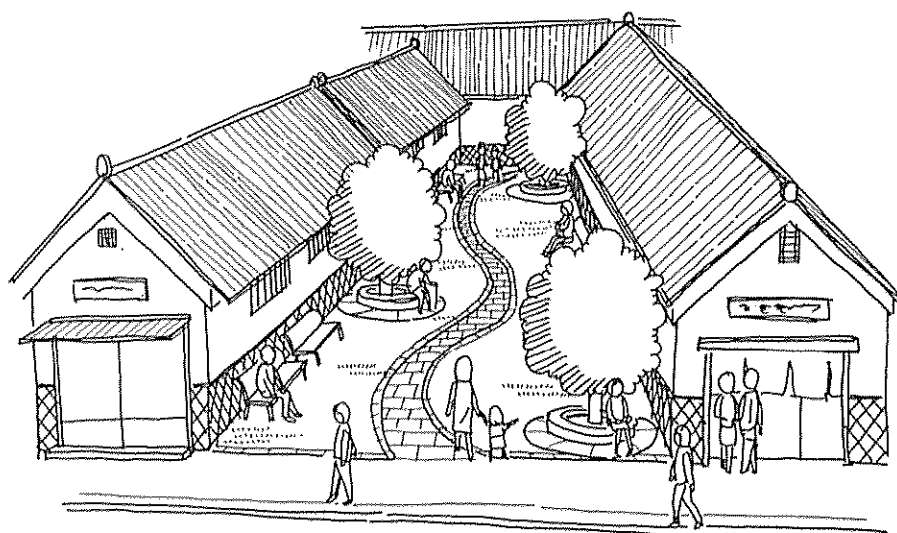
『 水と歴史が流れるふれあいの地域 』

④地域整備の方針

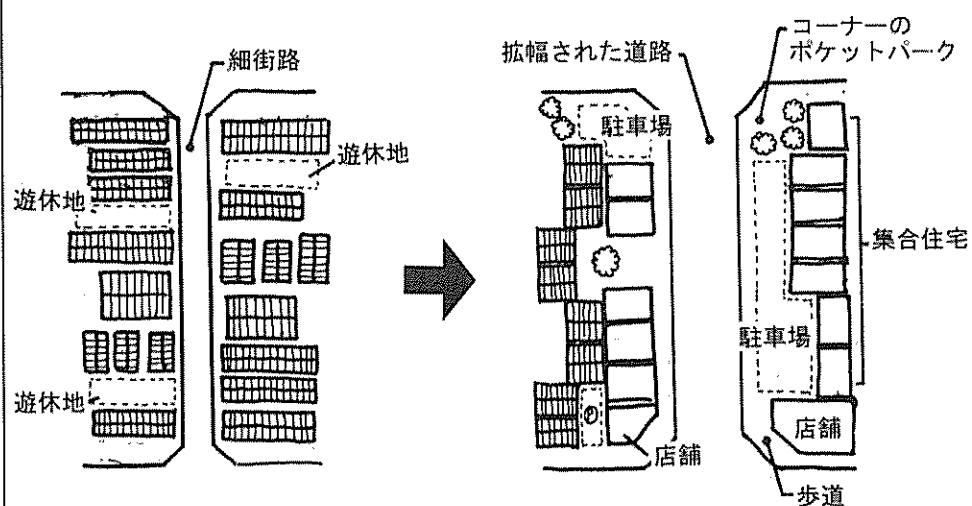
●中心市街地の再整備

活気ある中心市街地を形成するために、遊休地の活用や敷地の共同化・細街路の拡幅を促進し、中心市街地の再整備を図ります。

遊休地を活用したポケットパーク

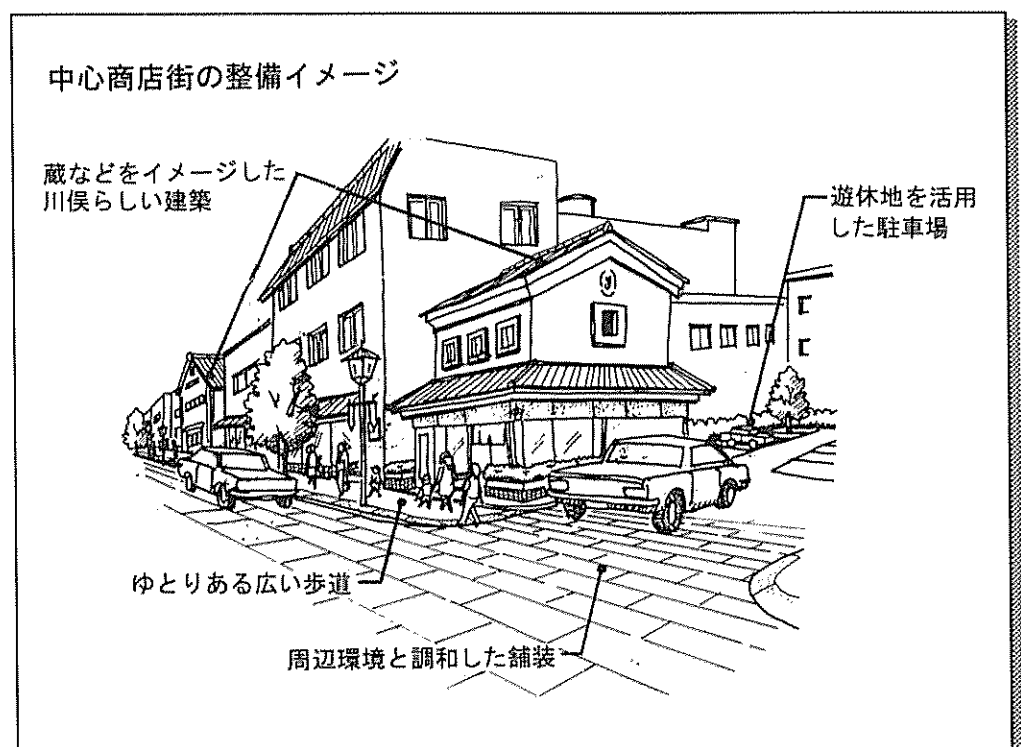
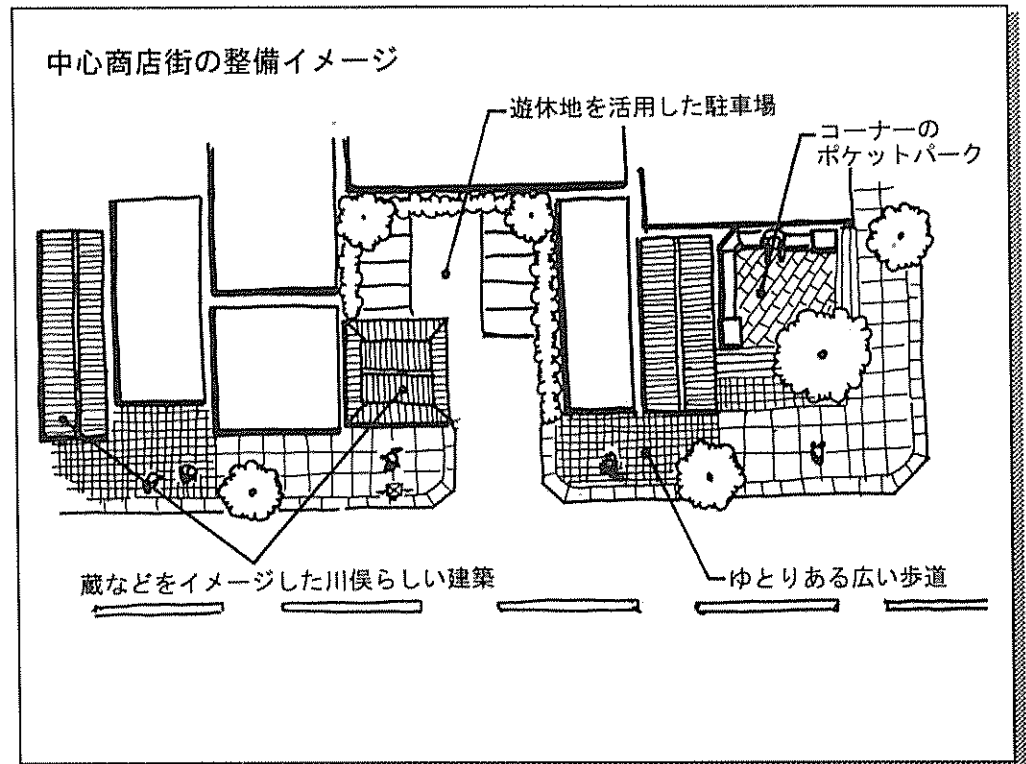


細街路の拡幅・防災不燃化



●中心商店街の活性化

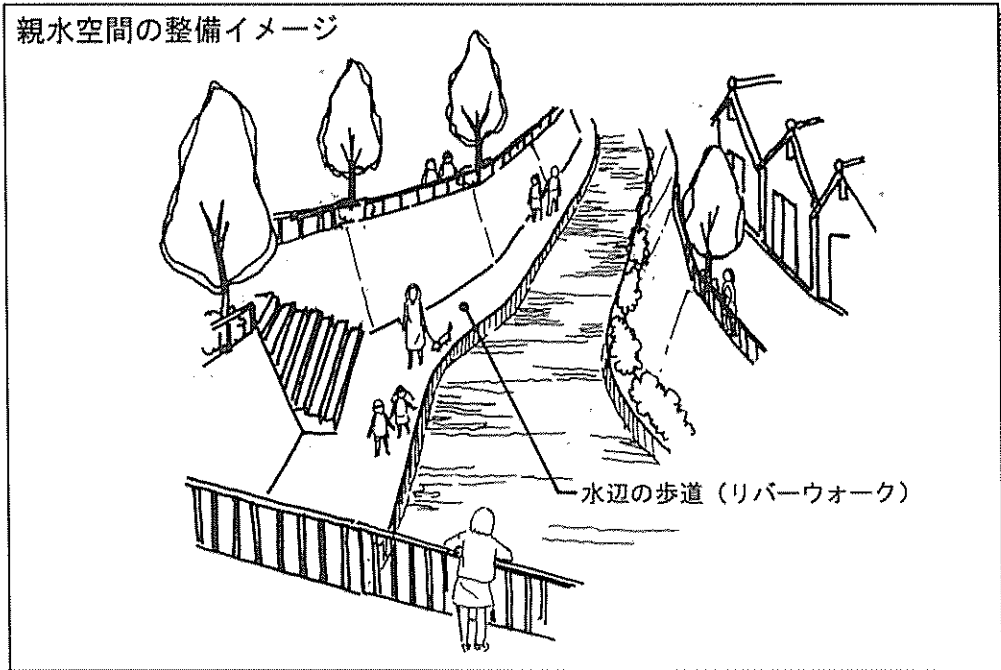
共同駐車場やポケットパークの整備等によって、中心商店街の買い物環境を向上させ、商店街の活性化を図ります。



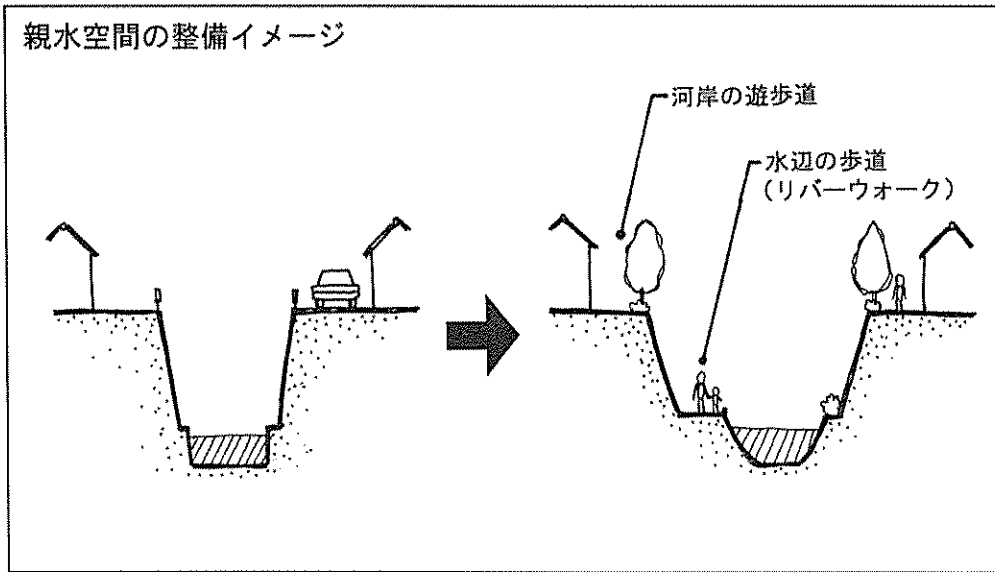
●広瀬川周辺の景観保全

河川公園の整備や水質浄化の推進によって、良好な河川景観を保全します。また、中心商店街の水路に広瀬川からの水を通すなど、水の流れによる演出で個性ある景観の形成を図ります。

親水空間の整備イメージ



親水空間の整備イメージ

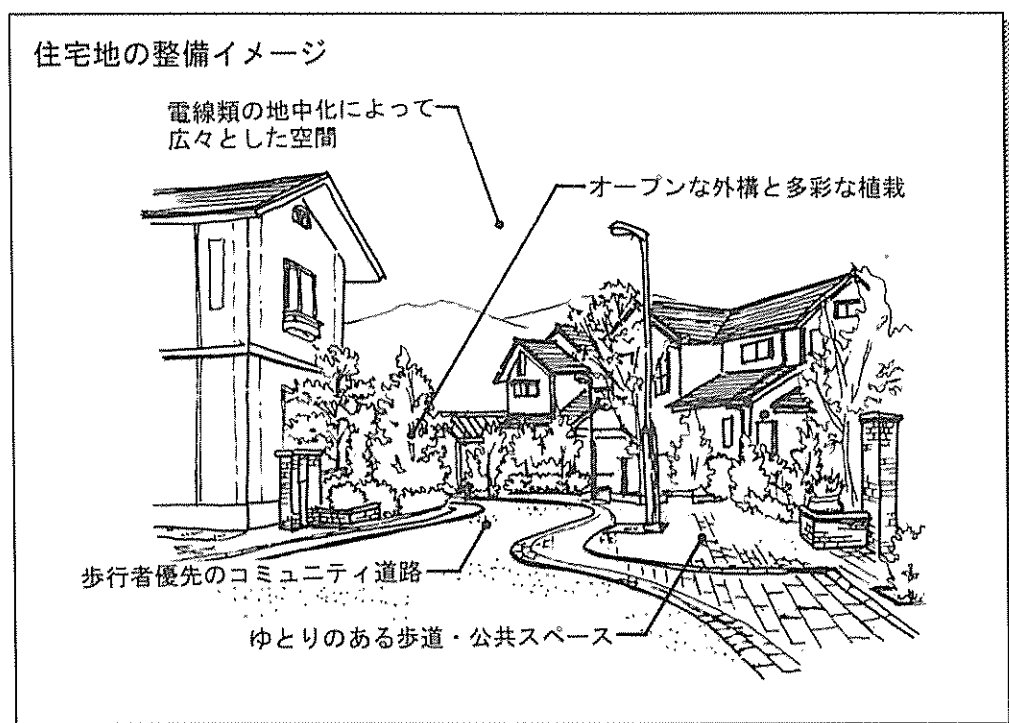


●蔵の観光的・文化的活用

歴史的価値のある蔵を博物館等に利用することにより文化的価値を高め、さらに広瀬川と一体となった景観整備を進めて、観光的な活用を図ります。

●住宅地の整備

壁沢地区の面的整備、新中町地区の再整備や、その他の遊休地の活用によって、住宅地の整備を進めます。



●生活軸の整備

歩道の整備やバリアフリー化により、人にやさしいまちづくりの象徴にふさわしい街路整備を図ります。また、統一感のある街路樹・街路灯やオープンスペースの整備をおこない、町の行政センターとしての雰囲気づくりも進めます。

●歴史的環境の整備

春日神社、常泉寺、河股城跡といった歴史的環境の保全・整備に努めます。

●中央公園の活用

中央公園を町民の憩いの場として一層活用するために、遊歩道整備等をおこないアクセスの向上を図ります。

川俣地域の将来像

～水と歴史が流れるふれあいの地域～

